簡易パケットキャプチャソフト
[PacketCaptureTool.exe]
取扱説明書

（1.0版）

入一通信工業株式会社

１．概要

本ソフトウェアはWindows上で動作する簡易パケットキャプチャソフトです。
INTAP-100またはINTAP-1000のモニタポートとパソコンを接続後、モニタポートから転送されるパケットを20MB分割にてキャプチャします。

２．動作環境

Windows 7, Windows Vista, Windows XPで動作します。

WinPcap(http://www.winpcap.org/)を使用しているため、WinPcapがインストールされている必要があります。WinPcapのダウンロードは下記になります。
http://www.winpcap.org/install/default.htm

３．インストール・アンインストール

インストールはダウンロードしたzipファイルを解凍後、適当なフォルダを作成し、「PacketCaptureTool.exe」をコピーしてください。

アンインストールはコピーしたフォルダごと削除してください。

４．ソフト仕様

・キャプチャファイルサイズ

1 ファイル 20MB

・キャプチャファイル数

ファイル数はドライブ容量の 80%まで使用して保存するように下記計算にて決定します。

(実際の空き容量－(最大容量×20%))÷20MB

キャプチャ毎に容量を計算し、足りない場合にはエラーを表示します。

計算によりファイル数が最大値の 65536 を越える場合、ファイル数は 65536 になります。

キャプチャ時にファイル数の上限に達した場合、新しいファイル作成後に

最も古いファイルが削除されます。

・キャプチャファイル保存場所

デフォルトは実行ファイル直下にフォルダを作成して保存します。

保存場所は設定にて変更可能です。変更した場合、設定値は「PacketCaptureTool.ini」に保存されます。

保存フォルダはキャプチャ毎に作成されます。

フォルダ名はキャプチャ開始日時(年 4 桁月 2 桁日 2 桁_時 2 桁分 2 桁秒 2 桁)となります。

(例:20120601_125726)

・キャプチャファイル名フォーマット

ファイル作成時間(年 4 桁月 2 桁日 2 桁_時 2 桁分 2 桁秒 2 桁) + 5 桁数値 + .cap

(例:20120601_173813_00000.cap)

5 桁数値はファイル作成毎にカウントアップされ 65535 になった場合には 00000 に戻ります。

・パケットロスログファイル

キャプチャ停止時に Winpcap からパケットロス情報を取得し、

ロスがあった場合にはキャプチャファイル保存フォルダに「error.log」を作成し、

ロスしたパケット数を保存します。フォーマットは下記になります。

2012/07/27 09:33:17 1823 packets dropped

５．操作方法

＜起動＞

「PacketCaptureTool.exe」をダブルクリックし、プログラムを起動すると図１のようなダイアログが表示されます。

図 1. 起動時ダイアログ

（注）WinPcap がインストールされていない場合には、図２のようなダイアログが表示されます。

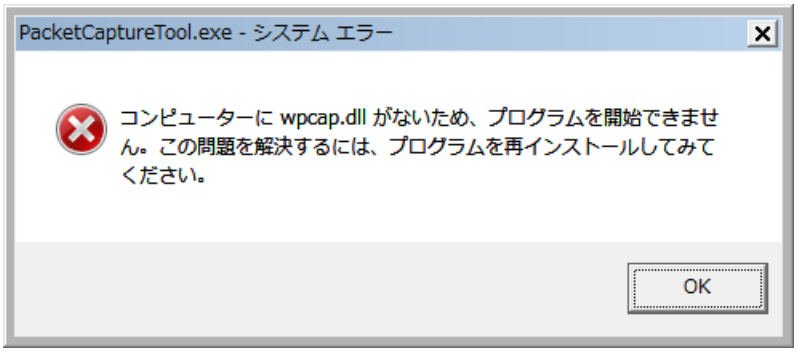

図 2. WinPcap 未インストール時ダイアログ

＜キャプチャ＞

図１の［キャプチャ開始]ボタン押下にてキャプチャを開始します。

NIC が２つ以上ある場合には図３のような選択ダイアログが表示されます。

キャプチャを実施するアダプタを選択して[OK]ボタンを押下します。

図 3. NIC 選択ダイアログ

キャプチャを実施するネットワークアダプタのプロパティにある IPv4 と IPv6 が図 4 のようにチェックされていた場合、図 5 のようなダイアログが表示されます。

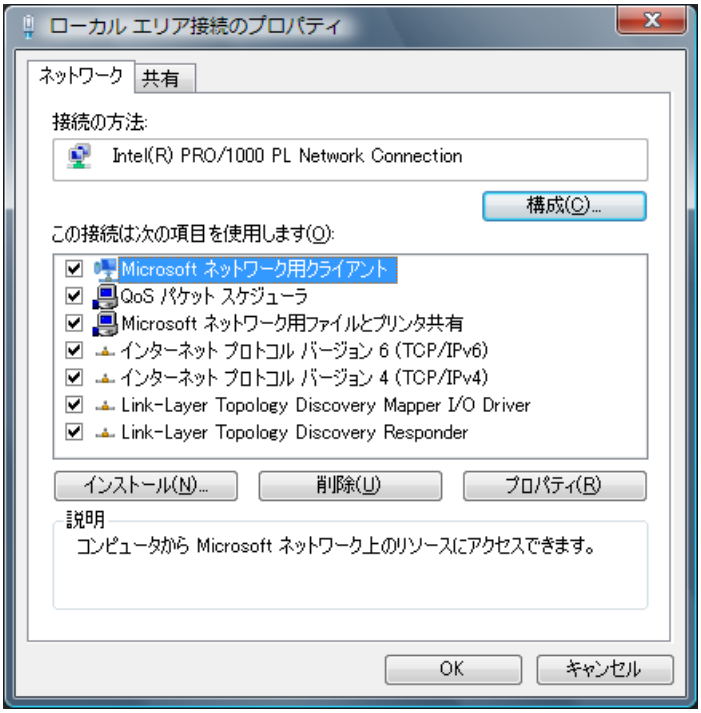

図 4. ネットワークアダプタのプロパティ

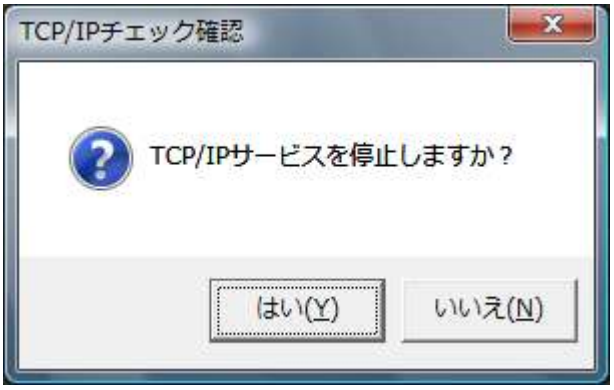

図 5. TCP/IP 停止確認ダイアログ

[はい]ボタンを押下すると選択したアダプタの TCP/IP サービスを停止（プロパティの IPv4 と IPv6 のチェックを外します。）後、キャプチャを実施します。[いいえ]ボタンを押下した場合には TCP/IP サービスを停止せずにキャプチャを実施します。

(注 1) サービス停止時にアダプタのプロパティ(図 4)が表示されていた場合、サービスの停止に失敗します。

(注 2)OS が Windows7 または Vista で、サービス停止時に図 6 のようなダイアログが表示された場合には「許可」を押下して下さい。

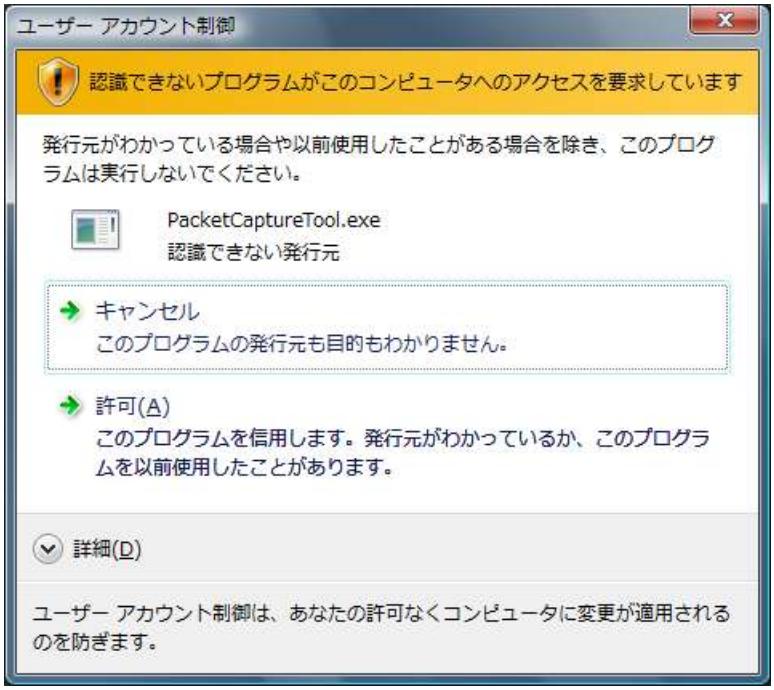

図 6. UAC 確認ダイアログ

キャプチャが開始すると図 7 のようにキャプチャ開始時間が表示されます。

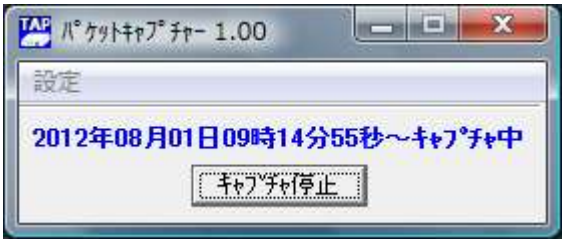

図 7. キャプチャ中ダイアログ

[キャプチャ停止]ボタン押下にてキャプチャを停止します。
キャプチャ開始時に TCP/IP サービスを停止していた場合には図 8 のようなダイアログが表示されます。
「OK」ボタン押下にて TCP/IP サービスを再開します。

図 8. TCP/IP 再開確認ダイアログ

(注)OS が Windows7 または Vista で、サービス再開時に図 6 のようなダイアログが表示された場合には「許可」を押下して下さい。

＜設定＞

図 1 の[設定]メニューにある[保存場所]押下にて図 9 のようなダイアログが表示されます。
[OK]ボタン押下にて保存場所が変更されます。

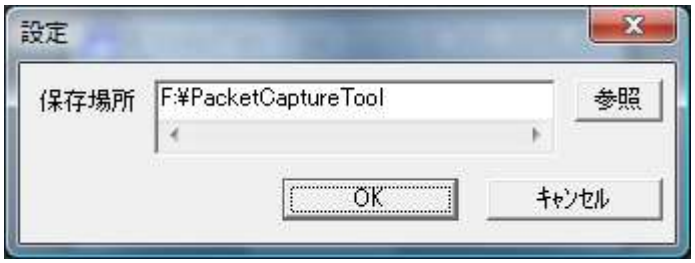

図 9. 保存場所設定ダイアログ

[参照]ボタン押下にて図 10 のような参照ダイアログが表示されます。

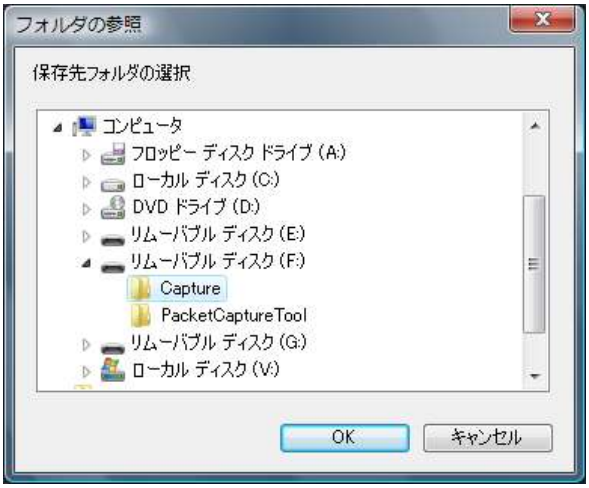

図 10. フォルダ参照ダイアログ

[設定]メニューにある[時刻設定]押下にて図 11 のような時刻設定パネルが表示されます。

図 11. 時刻設定パネル

５．その他

・取扱説明書の内容については予告なしに変更することがあります。

・本ソフトを使用したことによる一切の損害（一次的、二次的に関わらず）に対し、弊社では責任を負いません。

弊社側環境により動作検証は行っておりますが、本ソフトの動作保証は致しません。